

牛群検定通信 No151

～ 候補種雄牛の調整交配 ～

2022年度後代検定の候補種雄牛の調整交配が11月から始まります。

【今回のポイント】

○候補種雄牛を100頭に厳選

- ・ゲノミック評価値の信頼性向上による予備選抜の強化により、候補種雄牛頭数を140頭から100頭（前期：50頭、後期：50頭）に厳選しました。

○候補種雄牛の期待能力が大幅にアップ

- ・ゲノミック評価値の活用によって、より若い雌牛から雄牛を生産し、より高い能力が期待される雄牛の中から候補種雄牛を予備選抜しました。
- ・前期50頭のうち36頭のゲノミック評価値（NTP）は、現在供用されている検定済種雄牛トップの評価値（2853）を"超えて"います。
- ・また、無角やレッドといった特徴を有する候補種雄牛もいます。

牛群の改良を効率的に進めるためには、高い信頼度を有する検定済種雄牛とともに、最新の遺伝子を持つヤングサイア（候補種雄牛）をバランス良く利用することが重要です。

候補種雄牛の調整交配へのご協力をお願いします。

N T P	供用中の検定済種雄牛	候補種雄牛（前期）
3 5 0 0 -	-	3 頭
3 0 0 0 - 3 5 0 0	-	1 9 頭
2 5 0 0 - 3 0 0 0	4 頭	2 0 頭
2 0 0 0 - 2 5 0 0	1 7 頭	8 頭
1 5 0 0 - 2 0 0 0	2 9 頭	-
- 1 5 0 0	2 2 頭	-
（トップ）	（ 2 8 5 3 ）	（ 3 7 8 0 ）
〔平均〕	〔 1 7 6 8 〕	〔 2 9 6 5 〕

（注）ゲノミック評価の開始により、候補種雄牛の評価値が得られるようになりました。ただし、娘牛の成績がないので、信頼度が検定済種雄牛よりは低くなります。

（乳用牛改良推進協議会）